



防災教育チャレンジプラン
活動報告



グローバルユース BOSAI サミット 2025

Be Catalysts to Ignite Disaster Resilience



大阪から日本全国に、世界に広げよう！ BOSAI世界地図プロジェクト

主催 グローバルユース防災サミット実行委員会

■ 私たちについて

大阪を拠点に防災に取り組む10代から20代までのユースが学校や地域の枠を超えてつながり、共に防災を学び、実践、発信にチャレンジするユース主体のプラットフォーム。

災害大国日本の経験と知見を共有しながら、世界の人々との対話を重ね、「世界的共助」の関係構築をめざしている。

私たちのチャレンジ

-  ユースが学校や地域の枠を超えて集結
シナジーを最大化
-  大阪・関西万博で日本の防災を発信
世界の人々と「BOSAI」で対話
-  防災を世界視野で知り、学び、地図にまとめる
万博のレガシーの継承

01

ユースの協働によるシナジーの最大化



GLOBAL
YOUTH
BOSAI
SUMMIT



2025年5月17日(土) グローバルユース防災サミット2025 in 大阪・関西万博
小学生から大学生までのユース93名(海外から10名)が活動

グローバルユース防災サミット / Global Youth BOSAI Summit



01

ユースの協働によるシナジーの最大化



大阪教育大学附属天王寺小学校
豊中市立第一中学校
高槻中学校・高等学校
大阪府立水都国際中学校、高等学校
OSAKANOTOMODACHI
team.カランコエ



大阪大学
大阪公立大学
立命館大学
関西学院大学
同志社女子大学
国内38校・団体
トルコ、オーストラリア、台湾のユース

**仲間が
増えた!!**

02

日本の防災を発信 & 世界と「BOSAI」で対話



各国の災害の歴史、防災の現状を調査(計18回) → 117カ国・地域、293組、650名

言語の壁(特に英語)

→ 会話のきっかけづくり、声かけ、マナー

自分たちの思いを伝える

→ 防災に関心がない人も意外と多く。
万博でなぜ「防災」なの?という反応も。

文化・価値観の壁

→ 自分たちと違う、新たな発見、感動も!

**BOSAIは
世界をつなぐ
大事な
テーマ!**



防災を世界視野で知る、学ぶ地図づくり

Q どんな備えをしていますか？

防災訓練に参加している

アラブ首長国連邦 サンビア チリ ミクロネシア リベリア フィジー
モンテネグロ レソト コロンビア ルクセンブルク チェコ ガーナ
パラオ ケニア サンマリノ

水/食料/物資を備蓄している

ジャマイカ モンテネグロ 中国 アメリカ パラオ 韓国 ケニア
ベトナム ラオス セントルシア ノルウェー ルクセンブルク
アゼルバイジャン セルビア アルメニア オーストラリア

避難場所を確認しておく

コロンビア チェコ ソロモン諸島 ドイツ アラブ首長国連邦 フィジー
アンティグア・バーブーダ チェコ ミクロネシア バングラデシュ 中国
モンテネグロ アメリカ リベリア イタリア トーゴ

発電機や炭を用意している

アメリカ モンゴル

災害がないので何も備えていない

オランダ ミャンマー

地下にシェルターを作っている

アラブ首長国連邦 ガンビア

Q 防災をどこで学びましたか？

学校で防災について学んだ

アラブ首長国連邦 ネパール タイ ジャマイカ フィリピン モ
ンゴル ドイツ コートジボワール ケニア リベリア エジプト
赤道ギニア ヴァヌアツ スロバキア アメリカ
タンザニア ミャンマー イタリア バングラデシュ リトアニア
コンゴ ネパール 韓国 インド アルジェリア オーストラリア
ポルトガル アゼルバイジャン

災害が多いので経験から学んでいる

グレナダ スリランカ

防災イベントで学んだ

リベリア 中国 東ティモール フィジー

両親が教えてくれた

ドイツ

Q 今、災害が起きたらどうしますか？

避難訓練やマニュアル通りに行動する

トーゴ アメリカ ウガンダ ルクセンブルク 韓国
ミャンマー アラブ首長国連邦 スウェーデン
サンマリノ ジンバブエ

パビリオンのお客さんを守る

ドイツ ブラジル モーリタニア イタリア
ポルトガル セーシェル バチカン スウェーデン
エジプト フランス

地震が起きたらテーブルの下に入る

レソト スロバキア ラトビア インド クウェート
オランダ アゼルバイジャン ハンガリー
トルクメニスタン

日本人と同じ行動をする

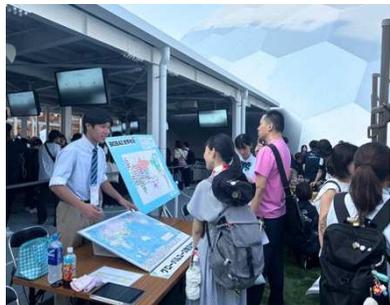
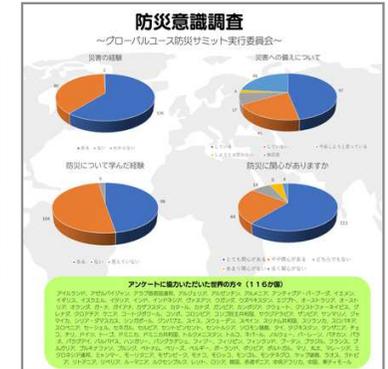
スイス イスラエル フィンランド ノルウェー

周りで火災が起きていないか確認する

ブルガリア

*各コメントは、当会が独自に調査、集約したもので、パビリオン関係者や来場者など個人からの聞き取りで得たもので、国や所属を代表した正式見解ではありません。

BOSAI世界地図に可視化&BOSAIの発信



世界地域の災害

この表は、2023年から2025年に世界で発生した自然災害をEM-DAT (ベルギー・ルーヴェン・ブリクスマン国際災害学実証研究センター・GRID5)が運営する国際災害データベースから抽出したデータ902件を分類したものです。

アジア: 合計 384(件)		アメリカ: 合計 223(件)		アフリカ: 合計 153(件)	
洪水: 149	土砂災害: 33	暴風: 113	地震: 8	洪水: 94	地震: 2
暴風: 125	乾害: 23	洪水: 83	乾害: 5	洪水: 41	乾害: 1
地震: 44	火山活動: 10	土砂災害: 12	火山活動: 2	土砂災害: 15	火山活動: 0

ヨーロッパ: 合計 115(件)		オセアニア: 合計 20(件)	
暴風: 48	土砂災害: 3	暴風: 14	土砂災害: 2
乾害: 34	地震: 2	洪水: 7	火山活動: 0
洪水: 28	火山活動: 0	地震: 3	乾害: 0

で来た災害の件数
洪水: 341件
土砂災害: 65件
乾害: 60件
火山活動: 12件

万博でのミニサミットやユース向けのワークショップなど、さまざまな場面に合わせて8種類の地図を試作。参加者の反応や理解度を確認。

- 立体的な世界地図
- 大型の地図2種
- 手作りの地図
- 国内外のユース防災団体のデータベース
- 防災意識調査の結果
- EM-DATデータ分析
- 防災科研の地域防災web

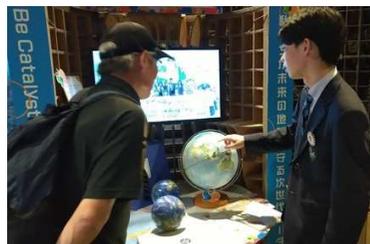
ユースの成長と変化

学校名 大阪府立水都国際高等学校

氏名 岩切 翔泉(いわきり かい)

ベトナムとフィリピンに行き、現地の人に声をかけ調査を行い、異なる文化を持つ人にも自ら積極的に話すことができるようになりました。フィリピンではスラム街を訪れたのですが、生活インフラの未整備で、常に“災害直後”のような生活を送っている住民の姿は今も忘れられません。

また、日本の防災にも目を向け、東日本大震災ドキュメンタリー映画(防災教育チャレンジプラン共催)の上映会の進行役を務めるなど、日本と世界の双方に目を向けた防災活動ができました。





ユースの成長と変化

団体名 team.カラコエ(花言葉:あなたを守る)

氏名 津上 遥奈(はるな:中2)、葵葉(あおば:小6)、
風花(ふうか:小3)

2022年から三姉妹でサミットの活動に参加しています。

私たちと同じ年頃のこどもたちに防災をもっと楽しく学んでほしいと考え、三人で防災ユニットを作り、私たちの得意なこと(文章を書くこと、絵を描くこと、話すこと)を生かして「防災紙芝居」づくりを始めました。

サミットでは、全国コンクールで賞をもらった作品を披露しました。

日本だけでなく、世界の人たちに見てもらい、「日本の災害や防災のことがよくわかったよ」と感想をいただきました。私たちの活動が遠くの国の人たちとつながれて、防災がますます好きになりました。

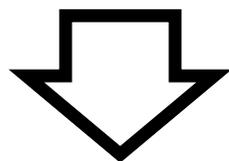


ユースの成長と変化

学校名 大阪公立大学

氏名 鈴木 俊翔(すずき しゅんと)

- 役割:ユースたちのサポート
- 主に参加した活動:万博に向けたワークショップや万博での活動
- ▶ユースたちの世界へと視点を通し、BOSAIを広めようと世界中の人々と交流する姿が非常に印象的だった



自身の変化:
フィリピンでのBOSAIを通じた対話の実践



私たちのチャレンジは終わらない！

04

ユースが防災を学び、実践へと進むロードマップとして
BOSAI世界地図を**進化**させ、**活用**の機会を広げる

05

外国人・障がい当事者等の参画を得て、
「**誰も取り残されない防災**」のための取り組みを充実させる

06

国内外の防災ユースの対話と共創を加速し、
地域・文化・考えの違いを越えた**シナジー**を生み出す

07

その成果を地域と世界に還元し、次世代とその次の世代
へ受け継がれる**レガシー**として定着させる



グローバルユース 防災 BOSAI サミット 2025

Be Catalysts to Ignite Disaster Resilience



大阪から日本全国に、世界に広げよう！ BOSAI世界地図プロジェクト

主催 グローバルユース防災サミット実行委員会